

競技注意事項

1 競技規則について

2019年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに、本大会申し合わせ事項による。

2 練習について

- ① 練習会場は、陸上競技場トラック、トラック外周、フィールド、雨天走路を使用すること。練習に際しては競技役員の指示にて安全に練習すること。練習会場の開放時間・場所については、栃木陸協 Web サイト等で別途提示する。
- ② 投てき練習については、競技前の練習試技のみとする。
- ③ 陸上競技場外の総合運動公園内園路はジョギング程度なら可とする。（ただし集団での走行、リレーのバトンパスをしながらのジョギング等は禁止とする。）選手・関係者及び公園の一般利用者の安全確保のため、ジョギング以外の練習は禁止する。

3 競技場について

スパイクピンの長さは、9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は、11本以内とする。

4 招集について

- ① 招集所は設けず、全ての競技で現地招集とする。
- ② 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- ③ 招集開始及び完了時刻は、下記の通りである。

種目	招集完了
トラック種目	15分前
走高跳・走幅跳・三段跳	30分前
砲丸投・円盤投・やり投・ハンマー投	30分前
棒高跳	1時間前

- ④ 招集完了時刻までに競技会場（スタート地点・ピット）で最終点呼を受ける。その際ナンバーカード、スパイクシューズ等の点検を受ける。
- ⑤ 招集は、本人が競技会場において受けること。ただし、同一時間に他の種目と兼ねて出場する者は、当該審判主任に申し出て了解を得ること。この場合代理人を認める。

5 棄権について

出場種目を棄権する場合には、招集完了時刻までに棄権する旨を当該審判主任に申し出ること。

6 入退場について

競技者は、招集完了時刻までに競技会場に入場する。その際は安全に十分留意すること。また、競技終了後も競技役員の指示に従って規律ある行動をとること。

7 ナンバーカードについて

- ① ナンバーカードは、胸と背に1枚ずつ確実につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸または背に1枚つけるだけでよい。
- ② トラックレースの腰ナンバーカードは、フィニッシュライン付近の配布場所にて選手が各自で取りに行き、競技終了後ただちに返却する。腰用のナンバーカードは右腰後方につけること。
- ③ ランニングシャツは、確実にランニングパンツの中に入れること。

8 トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順について

- ① トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示すので審判員の指示に従うこと。

- ③リレー競走に出場するチームはリレーオーダー用紙を記録情報室で受け取り、第1組目の招集時刻の1時間前までに記録情報室に提出する。
- ④リレー競技に出場するチームは、原則として同一ユニフォームで参加しなければならない。

9 跳躍競技（高さ・踏切板の距離）について

（※審判長の判断で、変更することもある）

種目		練習	競 技
走高跳	男子	1.70/1.85	1.75～1.80～1.85～1.90～1.95～2.00・・・
		1.20/1.35	1.25～1.30～1.35～1.40～1.45～1.50・・・
	女子	1.00/1.45	1.05～1.10～1.15～1.20～1.25～1.30・・・
棒高跳	男子	2.70/4.00	2.80～3.00～3.20～3.40～3.60～3.70～3.80・・・
	女子	1.70/2.50	1.80～2.00～2.10～2.20～2.30～2.40・・・

- ①上記以後の高さについては、跳躍審判長の指示による。
- ②第1位決定のバーの上げ下げは走高跳2cm、棒高跳5cmとする。
- ③雨天の際は、協議の上変更することもある。
- ⑤三段跳における踏切板の距離については、男子11m・女子9mとする。

10 用器具について

競技に使用する用器具は、検査を受け合格したものについてのみ用できる。
 ポールの検査は、招集後現地にて行う。やりの検査については、招集完了1時間前から招集完了までの間にフィニッシュ側用器具庫にて行う。

11 リレー種目で複数チームの参加について

A, B, C・・・各チームそれぞれに6名エントリーした競技者は、
 競技者を入れ替えての出場はできない。（Bの競技者をAチームへ）

12 競技について

- ① 不正スタート1回で、失格とする。
- ② 3000m、5000m、5000mWの給水については、気象状況等を考慮し設置する。

13 その他

- ① 競技中の傷病などについては、主催者が応急手当をするが、以後の責任は負わない。
- ② 開会式については、別に指示する。
- ③ 各チームの待機場所については、栃木陸上競技協会が指定した場所とする。
 各チームのテント設置は、本競技場メインスタンド以外の芝生席のみとする。競技場外の公園敷地にテントを設置することは一切禁止する。またメインスタンドのテント設置は、観客の妨げになるので禁止とする。
 各チームベンチとして、雨天練習場・更衣室・ダッグアウト等を占領してはならない。
 雷発生時などの非常時には、競技役員の指示にて屋内に避難する。
- ④雨天走路の使用については、衝突防止等のため一方通行とする。
- ⑤更衣室については、男女共スタンド下更衣室を使用する。
- ⑥応援は、スタンドで行う。スタンド最前列での集団応援は禁止とする。また、トラック・フィールド内での応援は、禁止する。
- ⑦盗難防止には、各自十分留意する。
 紛失については、競技場大会本部庶務係で保管する。
- ⑧写真撮影・ビデオ撮影については、許可制とする。競技場1階受付で、記名・連絡先等を記入し、許可帽子を受け取る。帽子は、常に身につけて撮影する。

14 災害時の避難場所

会場責任者の判断により、避難の放送が入るので避難誘導係の指示に従って落ち着いて行動する。